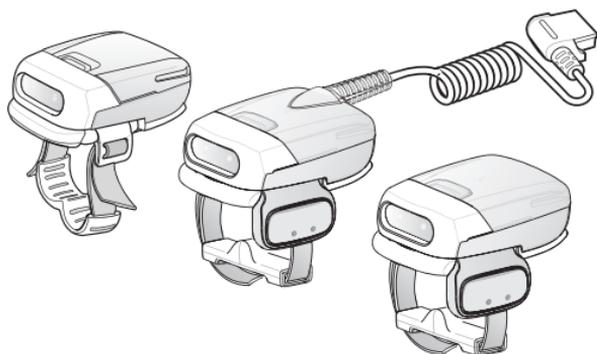


RS507/RS507X

ハンズフリー イメージャ



クイック リファレンス
ガイド



ZEBRA

保証

Zebra の完全なハードウェア製品の保証については、
サイト (www.zebra.com/warranty) にアクセスしてください。

サービスに関する情報

本機器の使用中に問題が発生する場合は、最寄りの技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合は、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、Zebra サポート (www.zebra.com/support) に問い合わせを行います。

このガイドの最新版は、www.zebra.com/support から入手可能です。

はじめに

このガイドはモデル番号 RS507、RS507X に適用されます。

RS507 ハンズフリー イメージャ (イメージャとも呼ばれる) は、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。またイメージャは、Bluetooth 経由で通信するさまざまなモバイル コンピュータとも互換性があります。

イメージャは、倉庫内の製品管理から、配送施設での配送処理、さらには医薬品配送センターでの処方薬の取り扱いにいたる広範な用途に対応できるように設計されています。

イメージャは、カメラベースのスキャン テクノロジーを採用し、右利きユーザーでも左利きユーザーでも人間工学に基づく使いやすいハンズフリー操作を柔軟に行うことができるように設計されています。

イメージャは、手動モードと自動トリガ モードのどちらでも操作できます。自動トリガは、モーション センサー機能と近接センサー機能を組み合わせてイメージャを起動する、特許出願中のインテリジェント センサー テクノロジーです。

このガイドについて

このガイドでは、次のトピックに関する基本的な情報について説明します。

- 5ページの「コードレス設定の機能」
- 6ページの「有線設定の機能」
- 8ページの「ご使用前に - コードレス設定」
- 9ページの「ご使用前に - 有線設定」
- 11ページの「状態の表示」
- 12ページの「Bluetooth の接続」
- 13ページの「スキャン」
- 16ページの「イメージャのカスタマイズ」
- 17ページの「イメージャのリセット」
- 18ページの「トラブルシューティング」
- 19ページの「現場で交換可能な部品」
- 25ページの「クリーニング」

詳細については、次のサイトで入手可能な『RS507 Hands-Free Imager Product Reference Guide』(p/n 72E-120802-xx) を参照してください。

www.zebra.com/support

イメージャのパッケージの開梱

開梱したら、内容物を確認してください。次のものが同梱されています。

モデル yy: IM = SR フォーカス DL = DL フォーカス z: 空白 = RS507 (従来式) x = RS507X (最新式)	説明	標準バッテリー	大容量バッテリー	有線アダプタ	トリガ	クイックリファレンスガイド
RS507z-yy2xxxxSTWR	コードレス、トリガ式 RS507 と標準バッテリー	✓			✓	✓
RS507z-yy2xxxxSNWR	コードレス、トリガレス RS507 と標準バッテリー	✓				✓
RS507z-yy2xxxxENWR	コードレス、トリガレス RS507 と大容量バッテリー		✓			✓
RS507z-yy2xxxxCTWR	有線、トリガ式 RS507			✓	✓	✓
RS507z-yy2xxxx0TWR	コードレス、トリガ式 RS507、バッテリーなし				✓	✓

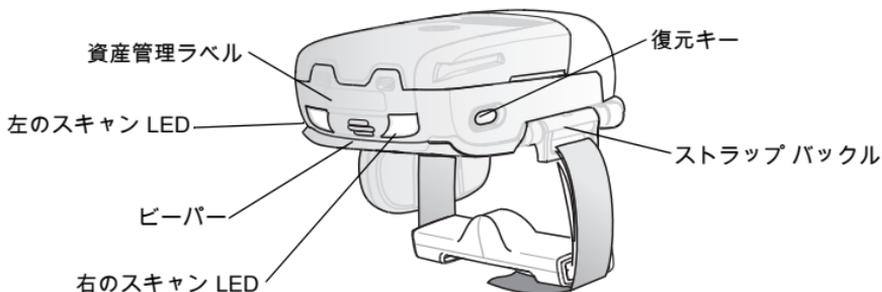
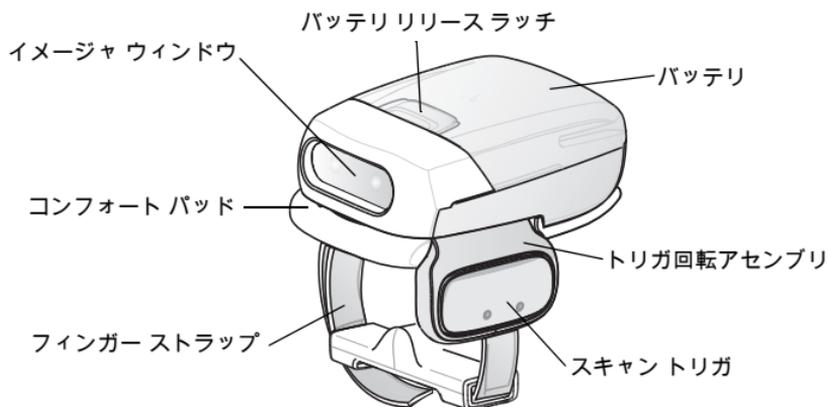
- **標準レンジ (SR):** SR フォーカスは、読み取り距離を最大化する場合に使用します。同じイメージャを使用するすべてのモバイル コンピューティング製品の標準機能です。SR フォーカスは、5 mil の code 128 や 6.6 mil の Databar を読み取るように指定されていないため、このような高密度の読み取りが求められる用途には適していません。これはデフォルトの設定であり、遠距離の読み取り範囲を確保するほうが、高密度なシンボル体系を読み取ることよりも重要な場合に選択する設定です。

- **運転免許証 (DL):** DL フォーカスは、すべての運転免許証の読み取り用に最適化されており、5 mil の code 128 と Databar や、5 mil PDF417 などの高密度コードを読み取るように指定されています。このため、EAN/UPC コードでは読み取り範囲がやや狭くなります (通常、写真品質のシンボルで 30.5cm (12 インチ))。これは、このような高密度のコードを読み取るほうが、中密度または低密度のコード範囲 (10 mil 以上) を読み取るよりも重要である場合に優先される設定です。DL は、電子機器や薬局での使用、あるいは小型アイテムを扱うときに使用することが推奨されます。

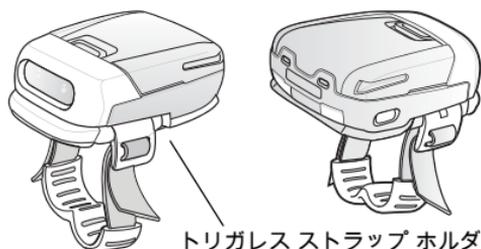
機器に破損がないか確認してください。同梱されているべき機器が足りない場合、またはそれらの機器が破損している場合は、すぐに Zebra サポート (www.zebra.com/support) にお問い合わせください。

コードレス設定の機能

トリガ設定

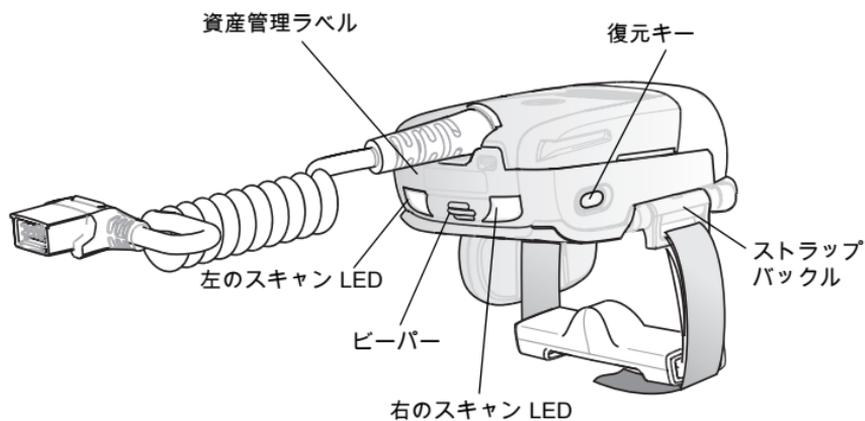
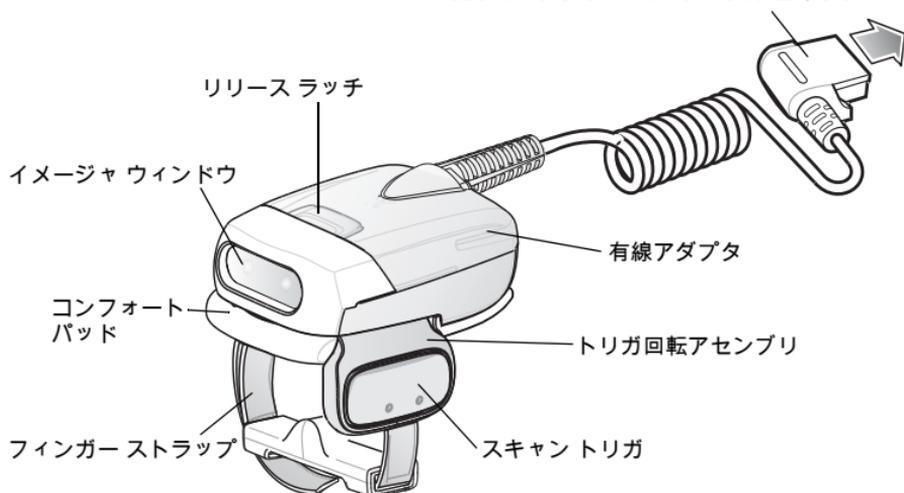


トリガレス設定



有線設定の機能

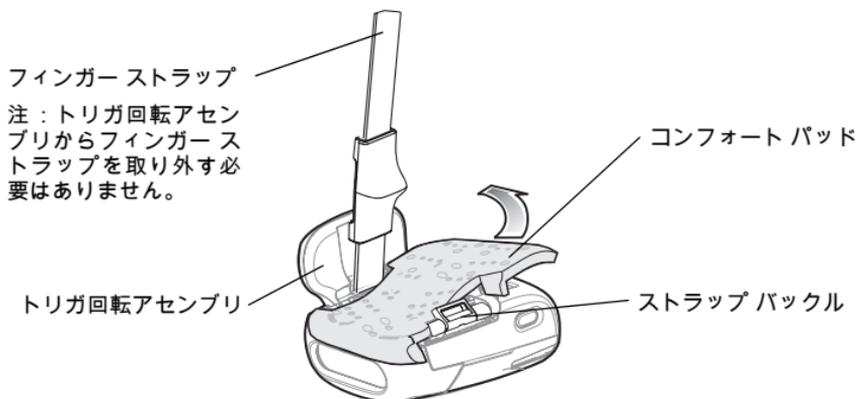
WT4090 のインタフェース ケーブル コネクタ



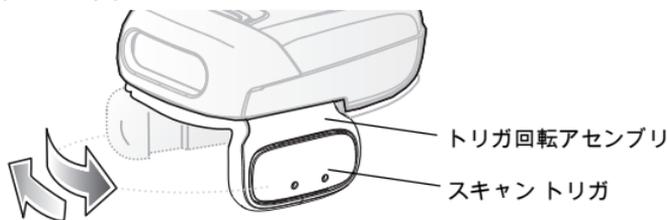
トリガ位置の変更

イメージャのトリガ回転アセンブリは回転可能なため、右手でも左手でも使用できます。

1. イメージャの底面で、コンフォートパッドを持ってイメージャから引き離します。



2. イメージャを右手と左手のどちらで使用するかを決めて、トリガ回転アセンブリを回転させます。



注意

トリガ回転アセンブリは、イメージャの下部で 180° だけ回転できます。所定の位置を越えてトリガ回転アセンブリを回転させないでください。

3. トリガ回転アセンブリを回転して、イメージャを人差し指と中指に装着したときにスキャントリガが親指の横に来るようにします。
4. コンフォートパッドをイメージャの上に置きます。
5. コンフォートパッドをイメージャに押し込みます。正しく取り付けると、コンフォートパッドが所定の位置に "ロック" されます。
6. フィンガーストラップをストラップバックルに挿入します。

ご使用の前に - コードレス設定

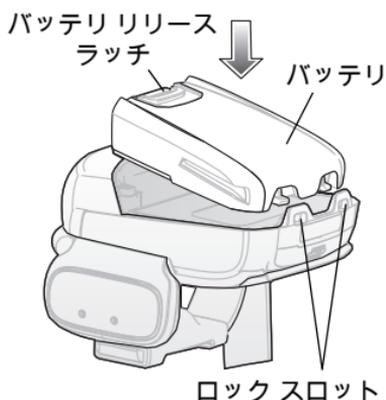
バッテリーの充電

イメージャを使用する前に、バッテリーを充電します。8 ベイ バッテリー充電器は、標準容量と大容量の両方のバッテリーをサポートします。

イメージャのバッテリーを充電する場合は、次のサイトで入手可能な『SAC5070 8-Bay Battery Charger Quick Reference Guide』(p/n 72-11589-xx) を参照してください。www.zebra.com/support

バッテリーの取り付け

1. バッテリーをイメージャの上部に合わせます。
2. バッテリーをイメージャのロック スロットに完全に押し込みます。
3. "カチッ" という音が聞こえるまでイメージャ内にバッテリーをしっかりと押し、バッテリー リリース ラッチをイメージャに完全にはめ込みます。

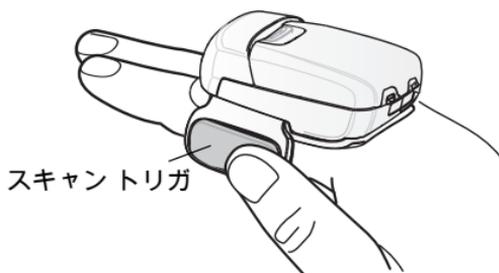


バッテリーの取り外し

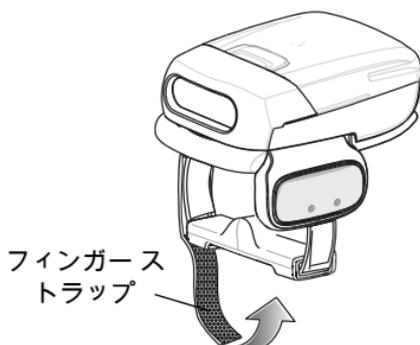
1. イメージャを片手で持ちます。
2. バッテリー リリース ラッチを押します。
3. バッテリーを上に向けて、イメージャのロック スロットから外します。

イメージャの装着

1. イメージャを人差し指と中指に装着し、スキャン トリガが親指の横に来るようにします。



2. フィンガーストラップを締めます。



- 注** イメージャを初めて使用するときは、電源をオンにした後で、スキャントリガを押してから放して、手動トリガモードを有効にします(この操作により、デフォルトの自動トリガモードが無効になります)。

ご使用の前に - 有線設定

イメージャの使用を開始するには、有線アダプタを取り付ける必要があります。

有線アダプタの接続

1. 有線アダプタをイメージャの上部に合わせます。
2. 有線アダプタをイメージャのロックスロットに完全に押し込みます。
3. "カチッ"という音が聞こえるまでイメージャ内に有線アダプタをしっかりと押し、アダプタリリースラッチをイメージャに完全にはめ込みます。



有線アダプタの取り外し

1. イメージャを片手で持ちます。
2. アダプタリリースラッチを押します。
3. 有線アダプタを上へ引いて、イメージャのロックスロットから外します。

ウェアラブル ターミナルへの接続

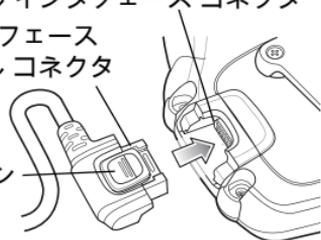
イメージャはターミナルに接続し、指に装着します。

イメージャをターミナルに接続するには、以下の手順を実行します。

1. ターミナルで、ターミナル インタフェース コネクタからカバーを取り外します。
2. イメージャのインタフェース ケーブル コネクタをターミナル インタフェース コネクタに接続します。

ターミナル インタフェース コネクタ
インタフェース
ケーブル コネクタ

取り外しボタン

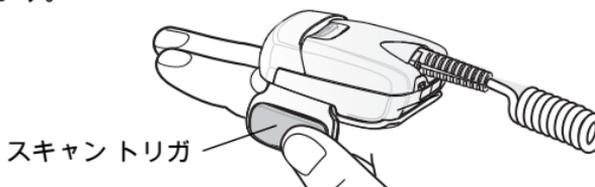


イメージャをターミナルから取り外すには、以下の手順を実行します。

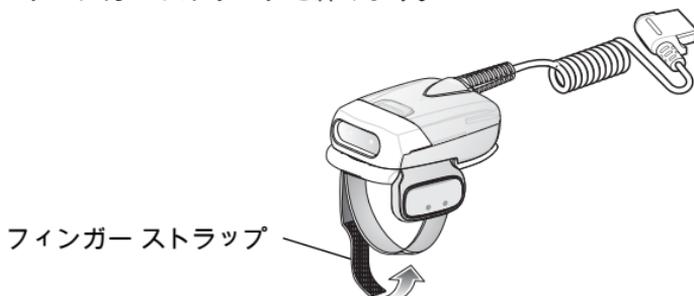
1. インタフェース ケーブル コネクタの取り外しボタンを押します。
2. インタフェース ケーブル コネクタをターミナルから引き抜きます。

イメージャの装着

1. イメージャを人差し指と中指に装着し、スキャン トリガが親指の横に来るようにします。



2. フィンガー ストラップを締めます。



注 イメージャを初めて使用するときは、スキャン トリガを押してから放して、手動トリガ モードを有効にします (この操作により、デフォルトの自動トリガ モードが無効になります)。

状態の表示

イメージャには 2 つのスキャン LED があり、その表示内容は同一です。イメージャには、各種のトーンで音声による通知を生成するビーパーも搭載されています。



注 有線設定においては、ビーブ音による通知が鳴るのは接続されたターミナルのみです。

番号	LED	ビーブ音による通知	説明
1.	なし	高音 / 低音	Bluetooth 通信が切断されました。
2.	緑色の短い点滅	なし	Bluetooth 経由で接続を試みています。
3.	なし	低音 / 高音	イメージャが Bluetooth 経由で接続されました。
4.	なし	高音 / 低音	Bluetooth 通信が切断されました - イメージャが通信圏外にあります。
5.	なし	高音 / 低音 / 高音 / 低音	Bluetooth ペアリング バーコードのスキャンが正しくデコードされました。
6.	なし	長い低音 / 長い高音	Bluetooth 接続の試行が失敗しました。
7.	なし	長い低音 / 長い高音 / 長い低音 / 長い高音	Bluetooth 接続の試行が拒否されました。
8.	緑色の点滅 1 回	高音	スキャンが正しく行われたことの通知。
9.	なし	長いビーブ音 4 回	再接続の失敗後に Bluetooth 通信がありません。
10.	赤色で点滅	短いビーブ音 2 回	バッテリーの残量不足です。
11.	赤色の長い点滅の後に緑色の点滅	高音 / 低音 高音 / 低音	クリーン ブートが正常に実行されました。

Bluetooth の接続

Bluetooth の接続の確立

モバイル コンピュータとの Bluetooth 接続を確立するには、以下の手順を実行します。

1. イメージャがモバイル コンピュータから 10 m (30 フィート) の範囲内であることを確認します。
2. イメージャにバッテリーを取り付けます。
3. モバイル コンピュータの Bluetooth デバイス (BD) アドレス アプリケーションを起動します。ほとんどの BD アドレス アプリケーションでは、モバイル コンピュータの画面に、ペアリング バーコードの画像が表示されます。
4. モバイル コンピュータの画面または提供されたラベルから、ペアリング バーコードをスキャンします。イメージャで、高いピープ音/低いピープ音/高いピープ音/低いピープ音が続けて 1 回鳴ります。
5. スキャン LED で、イメージャがモバイル コンピュータとの接続を確立しようとしていることを示す緑色の点滅が開始されます。
6. 接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、イメージャで、低いピープ音と高いピープ音が続けて 1 回鳴ります。これで、イメージャが接続されて、スキャンの準備が整っています。



注 イメージャのバッテリーを交換すると、イメージャのメモリには、最後にペアリングしたモバイル コンピュータのペアリング情報がそのまま残っています。

Bluetooth の接続の解除



注 Bluetooth の接続の解除が必要になるのは、電源をオンにするとイメージャが自動接続されるように設定されている場合に、イメージャを別のターミナルとペアリングすることが必要になったときのみです。

1. ペアリング解除のバーコード ラベルをスキャンして、イメージャとモバイル コンピュータの接続を解除します。
2. イメージャで、モバイル コンピュータとの Bluetooth 通信が切断されたことを示す高いピープ音と低いピープ音が続けて 1 回鳴ります。

失われた Bluetooth 接続の復元

イメージャは、10 m (30 フィート) の範囲内にあるモバイル コンピュータとの Bluetooth 通信を維持します。イメージャが接続の確立に失敗したか、操作中に接続が失われると、イメージャで低いピープ音と高いピープ音が続けて 1 回鳴ります。

モバイル コンピュータとの Bluetooth 接続を再確立するには、以下の手順を実行します。

1. イメージャがモバイル コンピュータから 10 m (30 フィート) の範囲内にあることを確認します。
2. モバイル コンピュータが "稼働状態" にあること (サスペンド モードになっていないこと) を確認します。
3. イメージャは自動的に、モバイル コンピュータへの再接続を 30 秒間試みます (スキャン LED が緑色で点滅します)。自動再接続が失敗した場合は、イメージャが Bluetooth の範囲内にあることを確認し、イメージャの復元キーを短く押して再接続します。
4. スキャン LED で、イメージャがモバイル コンピュータとの接続を確立しようとしていることを示す緑色の点滅が開始されます。
5. スキャン LED が消灯し、イメージャで、イメージャが接続されてスキャンの準備が整っていることを示す低いピープ音と高いピープ音が続けて 1 回鳴ります。

スキャン

イメージャでは、デジタル カメラの技術を用いてバーコードの画像を撮り、ソフトウェア デコード アルゴリズムが実行されて、画像からバーコード データが抽出されます。

スキャンのトリガ モード

手動トリガ (トリガ式モデルのみ)

1. モバイル コンピュータでスキャン ソフトウェア アプリケーションを起動します。
2. イメージャをバーコード ラベルからおおよそ 22.8cm (9 インチ) の位置に配置し、スキャン トリガを押します。バーコードが収まるようにクロス ヘアレーザ ビームの位置を調整します。イメージャはバーコードのデジタル写真 (画像) を撮り、デコードするためにメモリに保存します。

- ✓ **注** バッテリーの挿入後、または有線アダプタを（両サイドに）接続後、最初にトリガを押すと、自動トリガ モードが無効になります。

3. 緑色で 1 回点滅し、高音のピープ音が鳴って、バーコードが正しくデコードされたことが示されます。

- ✓ **注** 一部のアプリケーションでは、バーコードが正しくデコードされたことが、モバイル コンピュータ上で動作するソフトウェア アプリケーションで示されます。

自動トリガ (トリガレス モデルのみ)

イメージャには、自動トリガ機能が備わっています。自動トリガ モードでは、ユーザーがバーコードをスキャンしようとする際に、イメージャをトリガするために、モーション センサーと近接センサーの両方が使用されます。

自動トリガを有効にすると、イメージャでは、モーションが止まってバーコードがイメージャの読み取り幅内に配置されたときに、自動でスキャンを行います。イメージャはバーコードをスキャンし、電力を節約するためにオフになります。イメージャは、1 回または連続したスキャン操作を行うように設定することもできます。モーション機能と近接機能はデフォルトで有効になっており、ユーザーが再設定できます（『RS507 Hands-Free Imager Product Reference Guide』(p/n 72E-120802-xx) を参照）。

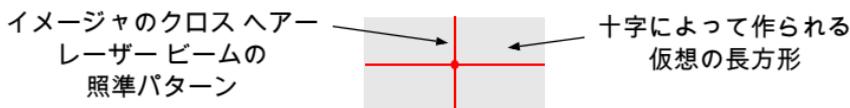
自動トリガ モードでバーコードをスキャンするには、以下の手順を実行します。

1. イメージャをバーコード ラベルからおよそ 22.8cm (9 インチ) の位置に配置します。
2. イメージャを固定して、バーコードに照準を合わせます。
3. イメージャはバーコードの写真 (画像) を撮り、デコードするためにメモリに保存します。
4. スキャン LED が緑色で 1 回点滅し、高音のピープ音が鳴って、バーコードが正しくデコードされたことが示されます。

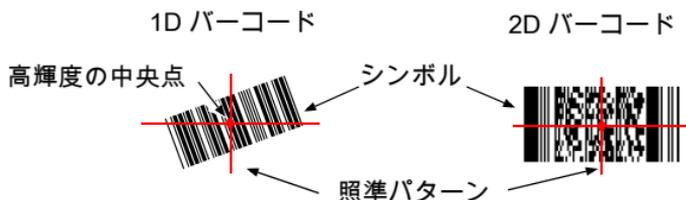
- ✓ **注** 一部のアプリケーションでは、バーコードが正しくデコードされたことが、モバイル コンピュータ上で動作するソフトウェア アプリケーションで示されます。

イメージャの照準合わせ

イメージャの照準パターンは、高輝度の中央点を持つクロスヘアレーザービームです(下図を参照)。十字によって作られる仮想的な長方形は、イメージャの読み取り範囲を反映しています。照準パターンを使用して、バーコードを読み取り範囲内に配置します。



1. 十字によって作られる仮想的な長方形内に任意の方向でシンボルを配置して、読み取り範囲全体で無指向読み取り機能を使用します。



またイメージャでは、次の左側の図に示しているような、照準パターン内にあるが中央には配置されていないバーコードの読み取りも可能です。ただし、右側の図については読み取りできません。

- ✓ **注** モバイル コンピュータでアプリケーションを "ピック リスト" モードで使用している場合、高輝度の中央点は、シンボルのどの位置にも置くことができます。



イメージャがシンボルに近いほど、照準パターンは小さくなり、シンボルから遠いほど大きくなります。小さいバーやエレメント (mil サイズ) のシンボルのスキャンは、イメージャを近づけ、大きなバーやエレメント (mil サイズ) のシンボルのスキャンでは遠ざけます。

2. イメージャを(バーコードの密度に応じて)バーコードから5 ~ 27.9cm(2 ~ 11 インチ)の位置で固定します。



注 シンボルが透明なプラスチックの下にある場合や、モバイル コンピュータの画面上にある場合は、反射を防ぐために、チルト角(ピッチ角)またはスキュー角をつけてスキャンすることをお勧めします。

3. スキャン ボタンを押します。レーザーがオンになっていると、照準パターンが赤く点灯します。スキャン LED が緑色で1 回点滅し、高音のビーブ音が鳴って、バーコードが正しくデコードされたことが示されます。

イメージャのカスタマイズ

トリガ設定からトリガレス設定への変更

トリガ設定からトリガレス設定に変更するには、以下の手順を実行します。

1. コンフォート パッドを取り外します(20 ページの「[コンフォート パッドの交換](#)」を参照)。
2. トリガ回転アセンブリを取り外します(21 ページの「[トリガ回転アセンブリの交換](#)」を参照)。
3. トリガレス ストラップ ホルダを取り付けます(22 ページの「[トリガレス ストラップ ホルダの交換](#)」を参照)。
4. コンフォート パッドを取り付けます(20 ページの「[コンフォート パッドの交換](#)」を参照)。
5. コールド ブートを実行します(17 ページの「[コールド ブート](#)」を参照)。

トリガレス設定からトリガ設定への変更

トリガレス設定からトリガ設定に変更するには、以下の手順を実行します。

1. コンフォート パッドを取り外します(20 ページの「[コンフォート パッドの交換](#)」を参照)。
2. トリガレス ストラップ ホルダを取り外します(24 ページの「[フィンガー ストラップの交換\(トリガレス ストラップ ホルダ\)](#)」を参照)。
3. トリガ回転アセンブリを取り付けます(21 ページの「[トリガ回転アセンブリの交換](#)」を参照)。
4. コンフォート パッドを取り付けます(20 ページの「[コンフォート パッドの交換](#)」を参照)。
5. コールド ブートを実行します(17 ページの「[コールド ブート](#)」を参照)。

6. スキャントリガを押してから放して、手動トリガモードを有効にします(この操作により、デフォルトのトリガレスモードが無効になります)。

✓ **注** イメージャを WT4XXX とともに使用する場合、トリガレスモードを WT4XXX で無効にすることもできます。

イメージャのリセット

イメージャが入力に応答しなくなった場合は、コールドブートを実行してください。

イメージャを工場出荷時のデフォルト設定に戻す場合は、クリーンブートを実行してください。

コールドブート

コールドブートを実行すると、ソフトウェアをリセットすることで、イメージャの操作が復元されます。コールドブートを実行するには、バッテリーを取り外して、イメージャに差し込み直します。有線イメージャモデルを WT4XXX とともに使用している場合は、イメージャと WT4XXX の間を接続するインタフェースケーブルを取り外して、再接続します。

クリーンブート

クリーンブートを実行すると、イメージャは工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

クリーンブートを行うには、以下の手順を実行します。

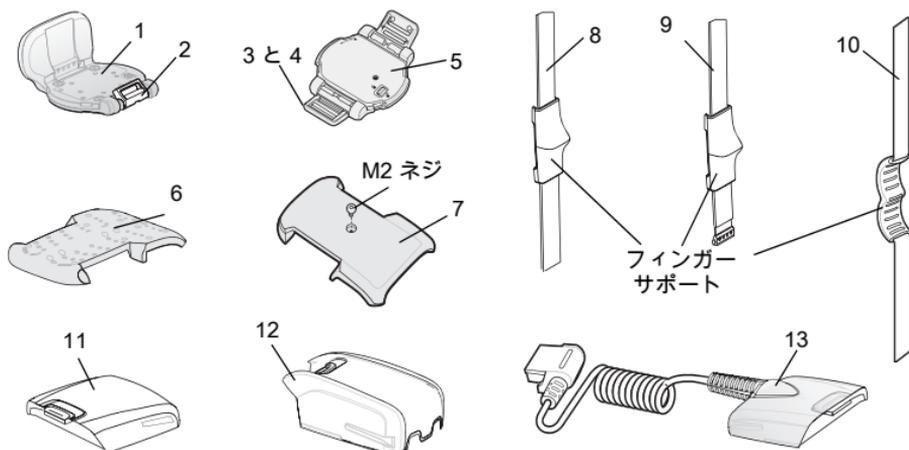
1. バッテリまたは有線アダプタをイメージャから取り外します。
2. 復元キーを押し続けます。
3. バッテリまたは有線アダプタをイメージャに差し込みます。
4. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。これで、イメージャが工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

トラブルシューティング

問題	原因	対処方法
スキャントリガを押してもレーザー照準パターンが表示されない。	有線：インタフェースケーブルがしっかり接続されていない。 コードレス： バッテリーが充電されていない。	インタフェースケーブルが正しく接続されていることを確認します。 バッテリーを交換、または充電します。
	イメージャに電源が供給されていない。	有線：モバイルコンピュータに充電されたバッテリーが装着されていることを確認します。 コードレス：イメージャのバッテリーを交換、または充電します。
	モバイルコンピュータのスキャンアプリケーションが動作していない。	モバイルコンピュータでスキャンアプリケーションを再起動します。
	イメージャソフトウェアが応答しない。	イメージャをリセットします (17ページの「イメージャのリセット」を参照)。
イメージャがバーコードを読み取らない。	バーコードが読み取り可能な状態ではない。	バーコードに汚れや破損などの不具合がないか確認してください。
	スキャナウィンドウが汚れている。	レンズ用ティッシュペーパーでスキャナウィンドウをクリーニングします。メガネ用のティッシュペーパーが適しています。ローションを塗布したティッシュペーパーは使用しないでください。
	バーコードのシンボル体系がサポートされていないか、有効になっていない。	システム管理者にお問い合わせください。
	コードレス： Bluetoothリンクが切断された。	Bluetooth接続を再確立します (12ページの「Bluetoothの接続の確立」を参照)。

現場で交換可能な部品

	部品	説明
1	KT-CLMPT-RS507-01R	トリガ回転アセンブリ。
2	KT-BKL-RS507-10R	フックおよびループストラップ用バックル 10 個セット。
3	KT-BKLN-RS507-10R	トリガレス伸縮フィンガー ストラップ用バックル 10 個セット。
4	KT-BKLT-RS507-10R	トリガ伸縮フィンガー ストラップ用バックル 10 個セット。
5	KT-CLMPN-RS507-01R	トリガレスストラップホルダ。
6	KT-PAD-RS507-10R	トリガ コンフォートパッド 10 個セット。
7	KT-PAD2-RS507-10R	トリガレス コンフォートパッド 10 個セット。 M2 ネジ付属。
8	KT-STRPN-RS507-10R	トリガレスフィンガー ストラップ 10 個セット。
9	KT-STRPT-RS507-10R	トリガフィンガー ストラップ 10 個セット。
10	KT-STRP2-RS507-10R	トリガまたはトリガレス伸縮ストラップ 10 個セット。
11	KTBTRYRS50EAB00-01	標準バッテリー。
12	KTBTRYRS50EAB02-01	大容量バッテリー。
13	ADPTRWT-RS507-04R	有線アダプタ。
	KT-ESTRPTRS507-10R	トリガおよびトリガレス設定用伸縮ストラップとバックル 10 個セット。



コンフォートパッドの交換

取り外し

1. イメージャの底面とコンフォートパッドが上向きになるように、イメージャを裏返します。
2. トリガレスストラップホルダで、マイナスドライバを使用して M2 ネジを外します。
3. イメージャの背面にあるコンフォートパッドの端の下側に指先を入れます。
4. コンフォートパッドを持ち上げて、イメージャから取り外します。

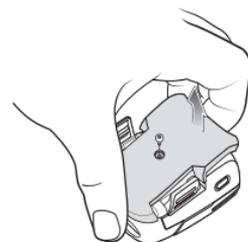


注意

前述以外の方法でコンフォートパッドを取り外すと、イメージャのトリガ回転アセンブリが損傷する可能性があります。



トリガ回転アセンブリ



トリガレス
ストラップホルダ

取り付け



注

トリガコンフォートパッドは、トリガ回転アセンブリにのみ取り付けできます。

トリガレスコンフォートパッドは、M2 ネジを使わずにトリガ回転アセンブリに取り付けできます。

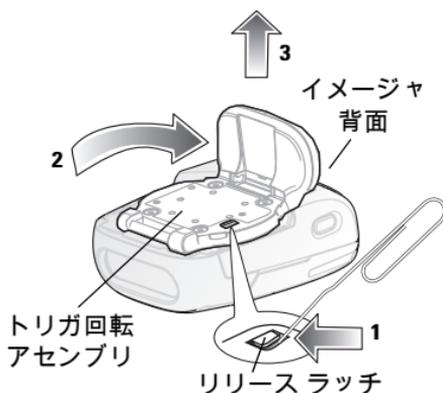
1. 図に示すように、コンフォートパッドをイメージャの上に置きます。
2. コンフォートパッドをイメージャに押し込みます。正しく取り付けると、コンフォートパッドが所定の位置にロックされます。
3. トリガレスストラップホルダで、マイナスドライバを使用して M2 ネジを締めます。



トリガ回転アセンブリの交換

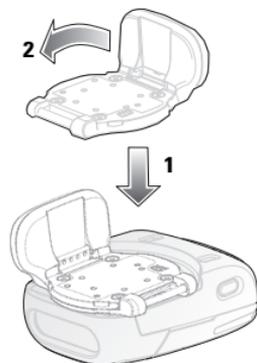
取り外し

1. イメージャを裏返します。
2. コンフォートパッドを取り外します。
3. ペーパークリップや類似した物を使用してリリースラッチを押します。
4. トリガ回転アセンブリ(またはトリガレスストラップホルダ)を回転させて、イメージャの背面に位置を合わせます。
5. トリガ回転アセンブリを持ち上げてイメージャから外します。



取り付け

1. イメージャを裏返します。
2. イメージャの背面に位置を合わせてトリガ回転アセンブリを置きます。
3. トリガ回転アセンブリをイメージャまで降ろします。
4. トリガ回転アセンブリを反時計回りに4分の1回転させます。
5. コンフォートパッドをイメージャに押し込みます。正しく取り付けると、コンフォートパッドが所定の位置に"ロック"されます。

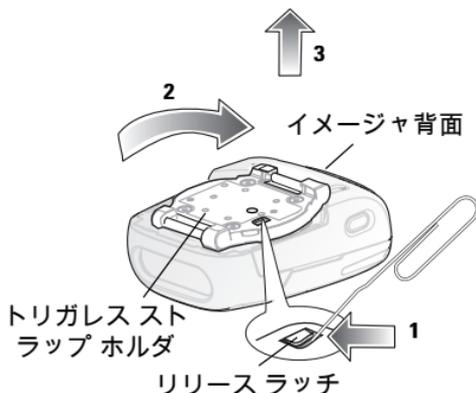


注 イメージャをモーションおよび近接で開始したバーコード読み取りモードで使用する場合は、オプションのトリガレスストラップホルダを取り付ける必要があります。

トリガレス ストラップ ホルダの交換

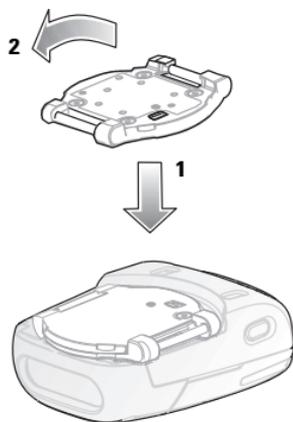
取り外し

1. イメージャを裏返します。
2. コンフォート パッドを取り外します。
3. ペーパー クリップや類似した物を使用してリリース ラッチを押します。
4. トリガレス ストラップ ホルダを回転させて、イメージャの背面に位置を合わせます。
5. トリガレス ストラップ ホルダを持ち上げてイメージャから外します。



取り付け

1. イメージャを裏返します。
2. イメージャの背面に位置を合わせてトリガレス ストラップ ホルダを置きます。
3. トリガレス ストラップ ホルダをイメージャまで降ろします。
4. トリガレス ストラップ ホルダを反時計回りに4分の1回転させます。



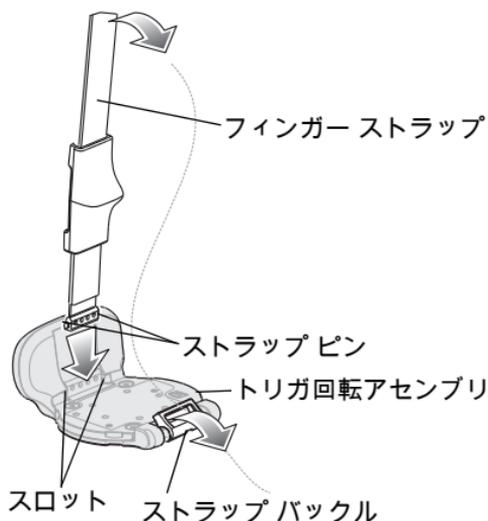
フィンガー ストラップの交換 (トリガ回転アセンブリ)

取り外し

1. フィンガー ストラップをストラップ バックルから取り外します。
2. フィンガー ストラップをトリガ回転アセンブリから引き抜きます。

取り付け

1. 新しいフィンガー ストラップをトリガ回転アセンブリのスロットの位置に合わせます。
2. ストラップ ピンを静かに押して、トリガ回転アセンブリのスロットにはめ込みます。ストラップ ピンがカチッと音が出てスロットに収まります。
3. フィンガー ストラップをストラップ バックルに通します。



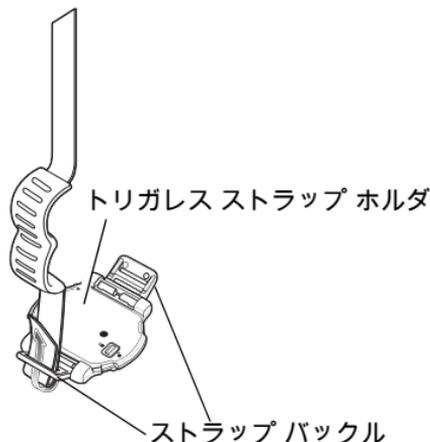
フィンガー ストラップの交換 (トリガレス ストラップ ホルダ)

取り外し

フィンガー ストラップをストラップ バックルから取り外します。

取り付け

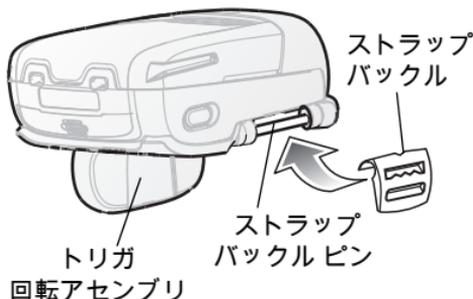
フィンガー ストラップをストラップ バックルに通します。



ストラップバックルの交換

取り外し

1. トリガ回転アセンブリを取り外します (21ページの「トリガ回転アセンブリの交換」を参照)。
2. ストラップバックルをストラップバックルピンから押し出します。



取り付け

1. ストラップバックルのピンスロットの位置をストラップバックルピンに合わせます。
2. ストラップバックルのピンスロットを静かに押して、ストラップバックルピンと噛み合わせます。ピンスロットがストラップバックルピンにはまります。
3. トリガ回転アセンブリを取り付けます (21ページの「トリガ回転アセンブリの交換」を参照)。

クリーニング

レンズ用ティッシュペーパーまたはメガネのクリーニングに適した用具で定期的にスキャナウインドウを拭いてください。

**注意**

イメージャに液体を浴びせたり、吹きかけたり、こぼしたりしないでください。

金めっきされたバッテリー端子は、変色または酸化することがありません。メンテナンスは必要ありません。端子のクリーニングが必要な場合は、以下の手順を実行します。

1. 綿棒の先をイソプロピルアルコールで湿らせ、過度のアルコールを綿棒から絞り出します。
2. 湿らせた綿棒で金属端子を拭きます。





www.zebra.com

© 2017 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved. Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

MN-002936-02JA 改訂版 A - 2017 年 12 月